



Lend a Hand
手を貸そう

国際ロータリー第2620地区

Weekly Report

御殿場ロータリークラブ週報

第1804回
例会プログラム
2003.7.31
No.5

例 会 場 / 東山荘・講堂

開 会 点 鐘 / 12:30

ロ-タ-リ-ソング / 四つのテスト

内 容 / 5大奉仕委員長所信表明
社会奉仕・新世代・国際奉仕委員長

会 員 慶 事

結婚記念日

7月31日 根上 眞一君・淑子様ご夫妻

夫人誕生日

7月31日 高村 繁男君ご夫人 博 子様

8月 5日 臼井 良太君ご夫人 芳 恵様

連続出席

7月26日 嶋田泉太郎君(13年間)



会 長 水口 正宏

本日は当地の「お盆」に当たります。現在の暦に変わった時以来、「みくりや盆」とか「23日盆」と呼ばれて北駿地方に定着しました。かつて養蚕が盛んな頃、7月13日の10日遅れに日取った理由は、農繁期を避けたことの他に、24日が地蔵盆であったからかもしれません。

盆と正月は日本人にとって最大の年中行事ですが、その由来については案外知られていません。お盆という言葉は梵語のウランバナを音訳したもので、漢字の盂蘭盆(うらぼん)が縮まったものであり、意味は倒懸(とうけん:逆さまに吊り下げられる苦しみ)のことです。つまり、亡き先祖をそのような苦しみから救うための供養が盂蘭盆です。その他にもペルシャ語のウルバン(魂)、古代日本語のボニ(先祖への供物をのせる器)が語源とする説があって、どちらも祖霊ないしは先祖供養と関係がありますが、はた

して偶然の一致にしてはこじつけみたいな感じです。

釈尊の弟子のモッガラーナの亡母が餓鬼道に落ち、苦しんでいることを知って教えを乞うたことから始まった行事(仏説盂蘭盆経)です。先祖といっても、自分にとって身近に感じるのは父母・祖父母、せいぜい二代か三代までで、七世の父母というふうに遡ると膨大な人数になります。10代前は千人を越し、20代前は百万人を超すといった具合で、もし一度でもその繋がりが切れることがあれば、現在の自分は存在しないわけです。この命がいかに稀有なものを自覚したいものです。

仏典には「父母を救済するは大公德あり。われ父母を助くることによりて世々に難なく、自ら成仏を致せり。この義をもつての故に諸々の比丘等(修行者たち)よ、各々孝順にして父母に供養すべし」とあり、この生命が大切と思うなら、父母・先祖の供養が最良だと言っているのです。つまり、お盆は「乳哺の恩(乳を飲ませてくれた恩)」を思い、現在ある父母・既に故人となった七世の父母の大恩に感謝する日でもあります。

8月 御殿場RC例会プログラム

月 日	点 鐘	会 場	内 容	担当及び卓話者
8/7 (1805回)	12:30	名鉄菜館	「レディースプラン」	塚田 玲子女史(三島RC)
8/14 (1806回)	12:30	名鉄菜館	会員拡大月間に因んで	会員増強委員会
8/21 (1807回)	12:30	ホテル御殿場館	クラブ協議会(第2回)	ガバナー補佐・全員
8/28 (1808回)	18:30	ホテル御殿場館	教員海外研修帰国報告	勝俣 久功教諭

さらりとした
ロータリーライフを

次回8月7日の例会

1805回 12:30点鐘 名鉄菜館

所信表明

クラブ奉仕委員長 稲葉 博之



クラブ奉仕はロータリーの5大奉仕の中で最も基礎的な奉仕活動です。ロータリーの発展史が示すように、はじめに親睦があり、そこから職業奉仕が生まれ、社会奉仕に発展して、更に国際奉仕が育ったというように、親睦が出发点になっています。この親睦から奉仕が生まれる仕組みを作っているのが例会です。

クラブ奉仕はこの目的にかなった例会をつくる為の奉仕を総括したものです。

会員相互の融和を図り魅力あるクラブにする為に会員各自が例会に出席する日を待っているような楽しく明るい例会にすることに奉仕をすることです。また、ロータリアンがクラブを円滑に機能させるためにまず必要なことは、会費を払うこと 例会・会合に出席すること クラブの親睦に加わることにクラブのプログラムに参加することです。

所信表明

職業奉仕委員長 田代 博久



R I 会長の職業奉仕でのテーマは「あなたの天職で手を貸そう」であり、水口会長は「ロータリアンは地域社会における事業及び専門職務のリーダーの断面図を示しているという自負をもって」と訴えています。

これらの考えを受けて、

ロータリアンの生活の規範をなすものである各自企業の職業倫理の保持と職場の健全性の確保のために「職業宣言」を掲示する。

身近な職業奉仕を理解してもらうために職業奉仕に関する卓話、地域内の企業訪問を実施する。

「情報会議（以前は行っていた炉辺会議）」を開催し情報交換をする。

昨年も行われた中学生職場体験の提供事業所登録事業に協力することや、専門分野による相談を実施することにより、会員に地域住民に奉仕してもらう。

以上の活動計画を立てました。

私たちは「四つのテスト」と同様に「四つの反省（顧客に対して、従業員に対して、競争者に対して、協力者に対して）」をいつもチェックする必要があります。

7月24日の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
60名	58名	50名	86.21%	98.28%

欠席者（8名）

勝又敏雄君・戸栗太平君・水口正宏君・豊山徹也君
大庭健一郎君・渡辺剛康君・小野寛幸君・高村繁男君

やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

ミーキャップ (6名)	高村繁男君	6月27日	裾野
	生野 旭君	7月 2日	GRA
	戸栗太平君	7月16日	GRA
	臼井良太君	7月16日	GRA
	大森清治君	7月22日	沼津北
	渡辺剛康君	7月22日	河口湖

大洞の会

『蕎麦を食する会』を本日7月31日(木)18:00より(株)エビス印刷御殿場営業本部で実施致します。多数の参加を期待しております。

7月24日のスマイル

芹澤正明君から素晴らしい記念のアルバムを、勝間田豪亮さんからはラロ君のお別れディナーの写真を戴きありがとうございました。内海宣彦君ラロ君と芹澤護君が一年間の親善大使を無事務め、夫々の母国に帰ることが出来ました。会員諸兄の公私に亘るご協力に感謝いたします。

勝間田豪亮君

お中元も一段落し、これから夏休み商戦に入ります。益々頑張ります。

石川又英君

何となく良いことがありました。

藤田昇司君

御殿場ローターアクト8月例会

8月 6日(水)19:30 御殿場市民会館

8月20日(水)19:30 御殿場市民会館

出席されるロータリアンの方は、食事を済ませてきて下さい。